

1. 科目名 (単位数)	特別活動の指導法 (初等) (2単位)	3. 科目番号	SJTC3412 EDTE2307
2. 授業担当教員	河村 明和		
4. 授業形態	◇講義、演習、模擬実習、グループワーク、ディスカッションなど 例：導入：講義によって課題の把握→展開(演習)：自分の考えをまとめる→グループでの話し合い→グループの考えを発表→全体での協議→まとめ：協議内容を含め講義のまとめ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	◇ 特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめ問題などに対する予防的な役割を果たすなど、児童の成長に欠かせない教育活動である。そこで、特別活動の意義や目標を確認し、その背景となる理論を理解するとともに、実践的な指導の在り方を身につけさせる。 ◇ 特別活動の方法原理や基本的な用語などの確認をしながら、学級活動を中心とした授業力等の理解と習得を図る。 ◇ 演習内容は、小学校における「学級活動」を中心にその授業力・指導力を育成するものとする。学級活動を中心に演習を展開する理由は、学級活動が特別活動の中核であり、集団成員としての望ましい資質や能力・態度を育て、人間としての生き方に関する指導を行う上での中心的な場であるとともに、生徒指導の全機能が補充・深化・統合される場として重要であるからである。また、教科書もなく学級担任としての力量が学級担任になると即刻問われるからである。		
8. 学習目標	1. 特別活動の目標や内容、特質と教育課程における位置づけについて理解し、教育課程全体を意識して計画や指導を行うことができるようになる。 2. 特別活動における評価・改善活動の重要性を理解し、適切な評価・改善活動を実践できるようになる。 3. 小学校における特別活動の中核となる「学級活動」について、その特質を理解した上で、計画委員会が主体となって授業を展開する指導案(展開案)を作成し、合意形成に向けた話し合い活動を指導できるようになる。 4. 特別活動における家庭、地域等との連携のあり方について理解し、指導に活かせるようになる。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	○ 次時の学習内容についての学習指導要領解説を活用した予習。 ○ 特別活動の具体的な活動のポイントについてまとめ、適宜レポートとして提出。 ○ レポート課題1000字程度。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ◇小学校学習指導要領解説 特別活動編(平成29年3月告示 文部科学省) 河村茂雄『特別活動の理論と実際』図書文化社 2018		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 特別活動の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくることができる。 2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極性(発言・模擬授業の実施等) 総合点の20% 2. 日常の学習状況(出席・提出物) 総合点の30% 3. 課題レポート(中間・期末) 総合点の50%		
12. 受講生へのメッセージ	教師が子どもの体験の世界や身の回りの環境に目を向けるとともに、子どもに負けない知的好奇心・探究心を持って活動をすることが大切です。受講に際しては、自発的・能動的に活動することを望んでいます。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	「特別活動とは—特別活動の位置づけと目標について考える—」 ・特別活動の教育課程内での位置づけと目標について理解する。	事前学習	・小学校学習指導要領解説 特別活動編を概観し、自分なりに特徴をおさえる。
		事後学習	・特別活動の特徴について、事前学習で自分なりにおさえた特徴に追記、修正を行う。
第2回	「特別活動とは—特別活動の内容と特質について考える—」 ・特別活動の全体構成、各内容の概要について理解するとともに、その特質について考える。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の内容に関わる箇所を読み、学習指導要領上で示されている内容を理解しておく。
		事後学習	・特別活動の特質についてまとめるとともに、各内容をきちんと住み分けられるようにする。
第3回	「学級活動—学級活動の内容を理解する—」 ・学級活動の目標と内容(共通事項・係活動と集会活動)、活動形態等について理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の学級活動に関わる箇所を読み、学級活動での課題について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・話し合い活動の共通事項(1)と(2)、係活動、集会活動の違いについてまとめる。
第4回	「学級活動の具体的な取り組み—話し合い活動の計画—」 ・話し合い活動の年間指導計画と一単位時間の指導計画を立てる。	事前学習	・どのような話し合い活動が実際に行われているのか、自身の体験や調べ学習からまとめておく。
		事後学習	・年間指導計画と一単位時間の指導計画の修正、加筆を行う。
第5回	「学級活動の具体的な取り組み—話し合い活動の実践：共通事項(1)—」 ・作成した指導計画をもとに話し合い活動の模擬実践を行い、指導方法や課題について考える。	事前学習	・指導計画を見直し、模擬実践ができる準備をしておく。
		事後学習	・模擬実践を受けて、自身が作成した指導計画を修正、改善する。

第6回	「学級活動の具体的な取り組み—話し合い活動の実践：共通事項（2）—」 ・作成した指導計画をもとに話し合い活動の模擬実践を行い、指導方法や課題について考える。	事前学習	・指導計画を見直し、模擬実践ができる準備をしておく。
		事後学習	・模擬実践を受けて、自身が作成した指導計画を修正、改善する。
第7回	「学級活動の具体的な取り組み—話し合い活動の実践：共通事項（3）—」 ・作成した指導計画をもとに話し合い活動の模擬実践を行い、指導方法や課題について考える。	事前学習	・指導計画を見直し、模擬実践ができる準備をしておく。
		事後学習	・模擬実践を受けて、自身が作成した指導計画を修正、改善するとともに、学級活動についてまとめる。
第8回	「児童会活動の指導」 ・児童の主體的な活動としての児童会活動の計画及び指導について考えることで、児童会活動の意義について理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の児童会活動に関わる箇所を読み、児童会活動での課題について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・児童会活動の指導の留意点についてまとめる。
第9回	「クラブ活動の指導」 ・クラブ活動の年間活動（クラブの設置～クラブの成果の発表）の流れや指導を実際に考えながら検討することでクラブ活動について理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編のクラブ活動に関わる箇所を読み、クラブ活動での課題について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・クラブ活動における指導の留意点についてまとめる。
第10回	「学校行事の指導—文化的行事と健康安全・体育的行事について考える—」 ・主として運動会の種目を検討する活動を通して、文化的行事・体育的行事のあり方や指導について考える。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の文化的行事、健康安全体育的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・文化的行事、健康安全・体育的行事の指導の留意点についてまとめる。
第11回	「学校行事の指導—遠足・集団宿泊的行事と勤労生産・奉仕的行事について考える—」 ・主として集団宿泊的行事の宿泊計画について、教師の視点から計画を設計することで、集団宿泊的行事に必要な指導について理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事の指導の留意点についてまとめる。
第12回	「学校行事の指導—儀式的行事について考える—」 ・儀式的行事の時程及び、指導について計画を立てることで儀式的行事の意義を理解する。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の儀式的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・儀式的行事の指導の留意点についてまとめ、自身の着任挨拶を考える。
第13回	「特別活動における評価と地域連携」 ・特別活動における評価の意義やあり方について、実際の実践映像や実践資料から考察するとともに、地域連携の必要性と重要性を考える。	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の評価に関わる箇所を読み、特別活動に置ける評価のあり方について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・評価の意義についてまとめるとともに、家庭及び地域との連携での展望を考える。
第14回	「特別活動の指導計画づくり」 ・特別活動の指導計画を作成することで、特別活動全体への理解を深める。	事前学習	・今までの授業を振り返り、特別活動の全体指導計画の構想を考えてくる。
		事後学習	・特別活動の全体指導計画を修正し、完成させる。
第15回	特別活動についてのまとめ ・特別活動の教育的意義と諸活動の内容を理解するとともに、課題や展望について考える。	事前学習	・今までの学習を振り返り、特別活動の特徴やポイントについて発表ができるようにしておく。
		事後学習	・特別活動の特徴やポイントについて、理解しやすいように簡潔にまとめるとともに、自身が教員になってからの展望について考える。